

【資料 4-14】人文・社会系若手研究者出版助成による出版物(2018(平成30)年度)

| | 氏名 | 書籍タイトル |
|----|---|---|
| 1 | 田中 亜以子 | 『男たち/女たちの恋愛——近代日本の「自己」とジェンダー』 (勤草書房、全 280 頁、2019 年 3 月) |
| 2 | 佟 占新 | 『戦後日本の道徳教育の成立——修身科の廃止から「道徳」の特設まで』 (六花出版、全 224 頁、2019 年 2 月) |
| 3 | 藤井 あゆみ | 『メランコリーのゆくえ——フロイトの欲動論からクラインの対象関係論へ』 (水声社、全 251 頁、2019 年 3 月) |
| 4 | 平田 知久 | 『ネットカフェの社会学——日本の個別性をアジアから開く』 (慶應義塾大学出版会、全 389 頁、2019 年 3 月) |
| 5 | 佐野 泰之 | 『身体の黒魔術、言語の白魔術——メルロ＝ポンティにおける言語と実存』 (ナカニシヤ出版、全 384 頁、2019 年 3 月) |
| 6 | 小川 仁 | 『シピオーネ・アマーティ研究——慶長遣欧使節とバロック期西欧の日本像』 (臨川書店、全 336 頁、2019 年 3 月) |
| 7 | 筑 菜奈子 | 『シリーズ・古典転生 18 ジャクソン・ボロック研究——その作品における形象と装飾性』 (月曜社、全 184 頁、2019 年 3 月) |
| 8 | 古川 萌 | 『ジョルジョ・ヴァザーリと美術家の顕彰——16 世紀後半フィレンツェにおける記憶のバトロネージ』 (中央公論新社、全 304 頁、2019 年 3 月) |
| 9 | 須藤 秀平 | 『視る民、読む民、裁く民——ロマン主義時代におけるもうひとつのフォルク』 (松籟社、全 336 頁、2019 年 3 月) |
| 10 | COKER Caitlin Christine (コーカー・ケイトリン・クリスティーン) | 『暗黒舞踏の身体経験——アフェクトと生成の人類学』 (プリミエ・コレクション 97)(京都大学学術出版会、全 296 頁、2019 年 3 月) |

| | 実績 |
|----------|-----|
| 平成 22 年度 | 8 |
| 平成 23 年度 | 11 |
| 平成 24 年度 | 12 |
| 平成 25 年度 | 9 |
| 平成 26 年度 | 13 |
| 平成 27 年度 | 19 |
| 平成 28 年度 | 17 |
| 平成 29 年度 | 11 |
| 平成 30 年度 | 10 |
| 計 | 100 |